



中3 みんなの高原教室 2013

毎年恒例の夏期高原教室へ今年も八月月十七日〜十九日に行つて参りました。

今月は、「みんなの日記」に代わり、中学三年生によつて書かれた「みんなの高原教室」をお楽しみください。この夏、受験を控えた中学三年生は本当に頑張りました。心身共に大きな成長を遂げた中学三年生の文章からは様々なことが読み取れます。



梨香台ゼミナールが流行に流されず、集団指導にこだわつてきたこと、「やるべきことは絶対にやる」と繰り返し指導してきたことが間違いはなかったことを再確認できました。受験という大きな試練を目前に控え、身近な先輩である中学生が何を感じ、どんな決意を持っている

のかを知ることが、皆さんの近い将来必ず役に立つことでしょう。

受験生の皆さんが、第一志望校に合格するその日まで、梨香台ゼミナールが支え続けます。

※小学生の楽しかった夏休みの思い出は来月号の「みんなの日記」に掲載予定です。

普段と違った景色を見て、勉強は環境が大事だと思つた。高原教室は大きな環境変化だ。窓から見える建物は大きな木に変わり、教室、いす、机と様々な物も変わった。集中力という点、効果は抜群だった。数学は最後まで解け、合格した自分にとっても驚き、自信がついた。また、人との関わりも大事だと思つた。塾では、なかなか話す機会がない人でも、たくさんのお話をすることができ、新たな発見があった。本当に充実した三日間だった。今日、帰ると思うと少しさびしくなるが、ここから受験モードに切り替えて、笑顔で春を迎えたいと思う。

(中三・SKさん)

僕は焦っていた。同じ三年生がどんどん課題が終わり部屋に戻っていく高原教室初日の午後十時、僕は焦っていた。勉強してきた英単語、古語は終わっていたが、自信があり勉強をしなかった数学と漢字が終わらなかつた。さらに、僕を焦らせる原因は他にもあった。ぼくは、四年生のころからずっと、高原教室の課題を一日目で終わ

らせてきた。そのプライドみたいなものもあり、ここでもうやく真剣に勉強する気になった。今回の高原教室で、簡単だと思つたことでもサボらずちゃんと準備をして確実にすること、そうすれば達成感が得られることを学んだ。

(中三・YU君)

どうなるのかな？まだ、梨ゼミに入ってから三週間弱の自分には不安な気持ちしかなかった。テストの紙をもらつてから、約三週間、猛勉強をした。合格したときは、ビツクリした。すごくうれしかった。苦労の後には達成感があるという言葉を高原教室で教えてもらった。そして、前よりすごく集中力がついた。これからも受験に向かつてがんばろうと思つた。

(中三・YS君)

この高原教室では、努力する大切さを学ぶことができた。また、焦らずに落ち着いた方がよいということもわかつた。課題ではゆっくり解いたつもりなのに正確さを重視したせいか三位になってしまった。本当に驚きだった。マイペースだった自分に自信が持てた。高原教室で学んだことをこれからの生活や入試に活かしていきたい。

(中三・T君)

私は、今回の高原教室は知らないことばかりで、最初にはジャングルの中で迷子になっている感覚でした。しかし、いろいろな子と話をしたり、笑ったりして、来て本当によかつたと思える高原教室になりました。受験は個人戦に見えて団体戦でもあります。授業でも一人一人が集中できる環境を作り、助け合うことが合格へのカギだとの合宿を通して改めて思いました。これからは、自分に厳しく、周りに気を遣うことを心掛けようと思います。

(中三・HTさん)

高原教室の前に先生が、三年が課題を早く終わらせなかったら、後の行事を全て勉強にしようと言っていたので、必死で残らないようにしました。課題が早く終わって、たくさん遊べて楽しかったし、当日までたくさん勉強して一日で合格したことだから、準備は大切だということも学べたので良かったです。(中三・RY君)

今回の高原教室で私は、二つのことを学ぶことができませんでした。一つは、出来ないからと言って勉強をあきらめないということ。もう一つは一定の教科だけに力を入れて、他を後回しにしたり、得意教科の勉強ばかりしないということ。高原教室で学んだことをこれからの勉強法に活かしていきたいです。(中三・ANさん)

ぼくは、とても喜んだ。なぜなら、高原教室の課題テストが一日目でおわったからです。去年の高原教室、自分はテストの勉強をあまりしなかったため、一日目に合格できず、一日目の夜は次の日の勉強のことで頭がいっぱいで気持ちよく眠れませんでした。だから、今年は絶対に一日目で全教科のテストを終わらせるよう頑張りました。(中三・DS君)

高原教室の課題テストをすべて終えることができたなら、それ相当の達成感が得られます。しかし、今回の課題テストで数学と繰り返しやったはずの国語を落としてしまったのです。今回の課題テストは自分自身では事前にはっきりやってきたと思ひこんでいました。これからは、自分の勉強法を見直し、テストでもギリギリの点数ではなく、満点に近い点をとってしっかりと合格できるようにしたいです。(中三・KK君)

高原教室に行く二週間前までは、別にそんなに勉強しなくても大丈夫だろうと思っていました。しかし、プレテストを受けてから、だんだんと不安になっていって、勉強を始めました。そして、高原教室当日、勉強していませんでした。二日目の午前十時にやっと全て合格できました。今回の高原教室で学んだ努力して勉強することを大事にして、これからの受験勉強も頑張ってみようと思います。(中三・RT君)

僕は、この高原教室で自分の弱点がわかりました。その弱点とは、「暗記に時間がかかる上に覚えたことをすぐに忘れてしまう。」ことです。もう一つの弱点は、緊張したり、興奮したりすると、目の前以外のものがみえなくなってしまうたり、大事な物を見落としたり忘れたりすることです。課題テストの英語でも名前を書くのを忘れてしまいました。これが、受験本番だったらと思うとぞっとします。今回見つかった弱点を克服してから、受験できるように頑張りたいと思います。(中三・YY君)

合格おめでとう。という声が聞こえた。一日目の深夜十二時まで一緒に数学のテストを受けていた友達だった。ついに受かったんだ。すごいなと思うと当時に先に受かってしまったのかと焦りも感じた。そして、次の日朝、合格したときは、思わず「よっしゃ。」と言ってしまった。こんなに満足することや、達成感を感じることは今まで、そしてこれからの人生でもあまり経験できないと思う。こんな気持ちになれるなら、もう少し早く高原教室に来ればよかったなと思った。「努力する

大切さ」「あきらめない心」をこれからの学習や生活に活かしていきたいなと思う。(中三・MKさん)

私は、最後の高原教室で多くのことを学びました。「あいさつ」「礼儀」「他学年との交流」など。

私は、数学がなかなか受からなくて、どんどんみんなが受かっていくのを見て焦るばかりでした。でも、先生や友達が応援してくれたお陰で、ギリギリだったけど合格ができました。合格して部屋に戻ると、友達が待っていてくれてすごうれしかったです。こんな自分のために寝ないで待っていてくれる友達を持っている自分は、すごいなと思いました。今回は自分でもよくがんばったなと思いました。努力は自信に繋がることを私は学びました。(中三・YAさん)

高原教室を三日後に控えた夜、僕は古語が書かれた単語帳とにらめっこしながらぶつぶつ呟いていた。吹奏楽の部活動やスピーチの練習などで忙しく、塾にもほとんど通えず気がつけば夏期講習の中期も終盤を迎えようとしていた。僕は焦った。こんなことになったのも、部活動との両立をしっかりとせず、勉強を怠った自分のせいであると反省した。その夜から単語帳を作り、繰り返し練習した。結果は、練習段階より好成绩で合格した。努力は期待を裏切らないことをよく思い知った。努力すればそれ相応の結果がついてくる。今後の受験勉強に活かしていきたい。(中三・MI君)

三回目のテストに向かう時、スタッフの人たちや友達に、「頑張れ！」と言われたので、今度こそは受かってやるという思いになりました。しかし、受かりませんでした。四回目、合格

でした。その時、嬉しさが込み上げてきて、飛び上がりたくなりました。部屋に戻り、みんなに報告したら、「イェーイ！」

と言って盛り上がってくれました。みんなが「がんばれ！」と言ってくれなかったら、頑張れなかったと思うので、応援の声の大切さを学びました。
(中三・YJさん)

初めての高原教室で課題を聞いたとき、これを全て合格できるか心配でした。先に暗記からはじめてプレテストのときもまあまあ点数を取れたのでこれはいけるかと油断してしまい休みの間はほとんど勉強しませんでした。そして当日、ものすごく後悔しました。なぜならみんなが三つ四つと合格している中、自分は一つしか合格できなかったからです。そして自分は三年生の中で最後の一人になってしまいました。やっと合格できたのは、十時前でした。

先生から、「この結果を見ていると全然一生懸命やっていない」と言われました。この高原教室で、これで一生懸命と決めつけてしまう弱い心を消すという課題ができたので、頑張っていきたいです。
(中三・NMくん)

私は、高原教室で充実した三日間を過ごすことができ、自然の中で遊んだり、学習することができて、本当に良かったと思います。

全て合格したときの達成感は、今も忘れられません。課題をクリアした後も、社会や数学の勉強をしました。高原教室の目的は学習と言うことを忘れずに過ごせたいと思います。

いろいろな学年、いろいろな学校の人たちが一緒になって合宿することなど、めったにありません。公園で、お昼ご飯を食べたり、外で遊んだりビンゴゲームをしたり、

友達皆で話したりなど、学校での林間学園、修学旅行とはまた違う楽しさがありました。

じゅけんまで、あと六ヶ月くらいです。これからは、高原教室で学んだことも生かしながら、受験勉強をし、生活していきたいです。
(中三・HIさん)

「始め！」という先生の合図で三年生塾生のシャープペンシルが走り出した。高原課題テストは、早く終わった者から順に順位がつけられる。そう思うと汗が止まらなかつた。後ろのホワイトボードに合否が記されていく。英語が四枚全て、国語が二枚合格していた。後二枚。しばらくすると国語が合格。待っているとなん数学も合格していた。ホッとした。

このテストで大きな達成感を覚えた。この達成感を忘れないで、これからの出来事に本気で取り組もうと思う。
(中三・SIくん)

毎年一発で合格していて、今年もすぐ終わるだろうと思っていた。しかし、数学は合格ラインのマイナス十を大きく下回るマイナス十六だった。落ちたことは悔しかったが、毎年受かっていて、自分は、そこそこできるという変化があり、更に悔しかった。合格前の夕食はあまり美味しく感じられず、楽しみにしていたアイスも全く食べられなかった。

数学のおかげで他の二教科が受かっていたのに、達成感を得られなかった。

これからはできると思わずに、チャレンジャー精神で勉強に取り組んで行きたいと思う。今回の高原教室は自分を見つめ直せる良い機会になった。
(中三・ISくん)

みんなで協力し、勉強し、話して、仲良くなれて、梨ゼミが大切に好きな場所になりました。この仲間達と、こ

れからももっともって勉強を頑張る、受験に合格したいです。この三日間は私にとって最高の思い出です。ありがとうございました。
(中三・AHさん)

僕は高原教室の課題が学年で二番目に終わりました。他に一回目で合格した人は少なく、達成感を味わうことができませんでした。日々、練習してきたことが結果としてついてきたのだと思います。だから僕はこれから、何事にも諦めないで行こうと思いました。

他にもこの高原教室では、友達との交流を深めることができました。
(中三・KK君)

僕が高原教室で学んだことは三つあります。一つ目は、一生懸命勉強してやることの大切さ。二つ目は、友達との大切さです。三つ目は、挨拶をすることの大切さです。最後の高原教室は勉強もできず、結構友達が増えて楽しく遊ぶことができました。短かったけど、また一ついい思い出になったと思いました。
(中三・RY君)

高原教室で自分は焦ってパニックになること、普段解くことができるような問題でも、解くことができなくなるということがあることを知ることができました。この経験を生かして、受験のときにも、この経験を思い出し、落ち着いて問題に取り組むことができたらいと思っています。自分のベストを尽くし、自分の行きたい高校に受かりたいです。
(中三・TO君)

僕は、この三日間の合宿という貴重な時間の中で、学習面と生活面のそれぞれでたくさんの方の大事な事を学びました。勉強でも、必死にやればできないことはないということ、あきらめない気持ちより深く学びました。また、たくさんの方の競争するライバルがいたからこそ、自分はどう

も集中できたり、やる気が出たり、生活面でも自分一人では何もできないということも学びました。

(中三・KKくん)

今回の高原教室で学んだことは、めりはりをつけることです。テストに合格するために一生懸命勉強し、それに合格すれば良いことが待っていると思えました。テストを一番最初に合格した人は、しっかり努力をしているんだなと思いました。

(中三・SKくん)

私が高原教室の課題を勉強し始めたのは夏休みに入ってから一週間後です。そして、自分の好きな数学の勉強はあまりせずにプレテストとテストを受けてしまったので、不合格でした。それは、すべて気がぬけていたり、「時間の使い方がなっていないかったりしたからだと反省しています。これからは、予定があるのなら、内容をしっかりと覚え、五分前行動を心掛けようと思いました。

今回の高原教室は、「気遣い」「時間の使い方」などたくさん学んだことがあります。学校生活や、受験に活かしていきたいです。

(中三・HEさん)

僕は高原教室の前日、とても嫌な気分だった。なぜなら課題の勉強を少ししかやっていたからだ。勉強しているとき、三日間で全ての課題がおわらないんじゃないかと思ってた。夜の十一時頃、英語と国語の課題を終わらせることができた。最後の高原教室は、テストが一日目で終わったり、部屋のメンバーとトランプをしたり、とても楽しかった。

(中三・KK中君)

前回の高原教室では、ほとんど勉強をせず、英語は朝五時でも終わらず、結局終わったのは三日目で、全然眠れず、すごく辛かったです。だから、今年は、課題をすこ

く勉強して、テストをすぐに終わらせました。健康面では、風邪をひいてしまい、三時間も寝たままでロスしてしまい、とても残念でした。今回の高原教室では、テストや入試が近くなっても、今まで以上に勉強をしなくてはいけないということを学びました。また、体調はつねに整えておくということも学びました。

(中三・KY君)

高原教室で学んだことは、集団行動、時間の大切さなどいろいろありました。課題テストの結果は、全て一日で終わり、自分もやればできるんだということが分かり、とても嬉しかったです。ピンゴ大会も印象に残っていて、うまい棒を箱いっぱいもらい、結構うれしかったです。その後、予想通りうまい棒をみんなに配り(とられ)ました。が、松戸五中の人とも仲良くなれて、良い合宿になりました。

(中三・TN君)

三日間を通して、何をする時にも一緒にいる友人の大切さや、集団行動を乱さぬように行動する力、大きな物事を成し遂げることができたときの達成感を学ぶことができた本当に良かったと思います。これを機に、しっかりと学業に励み、自分が何をすべきなのか日頃から考え、実行することが大事なのだと思います。これからはそれらを実行したいです。

(中三・RT君)

高原教室一日目、午後十時三十分、私はまだ数学が終わっていませんでした。このことから、私は三つのことを学びました。一つ目は、ちゃんと勉強すれば良かったという後悔です。二つ目は、受かったときの達成感です。三つ目は、友達の大切さです。受験や定期テストでも、事前に努力をして、その後に良い結果を残せるように、達成感を味わえるように頑張っていきたいです。そして、友

達は一生大切にして、友達のひと言で自分の心が動いたように、自分も友達の心を動かしたいと思えました。

(中三・KOさん)

今回が中学最後の高原教室で、ものすごく勉強してテストに挑みました。結果は、数学だけ二度不合格になつてしまいましたが、一日目で全教科終えることができました。テストが終わってからの楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。でも、今まで楽しめなかった夏休みがこの三日間で取り返せた気はします。今回楽しんだのもう楽しまず、残りの夏休みは数学に励んで、来年笑っていられるようにしたいです。

(中三・HT君)

高原教室で学んだことが二つある。一つ目は、あきらめないで最後まで全力で取り組むことの大切さ。二つ目は、しっかりとした準備の重要性だ。今回の高原教室の経験を生かして、一番大きな入試にも、しっかりとした準備をして、さらに最後まであきらめないで取り組みたい。

(中三・YW君)

高原教室で学んだことは、さぼってやらなかったことは、後で必ず降りかかってくるということだ。だから、これからは、今回の合宿を思い出して、勉強を今までよりがんばってみようと思う。

(中三・KS君)

私は、この高原教室で感じたこと、学んだことが二つあります。一つ目は、同じ学年の友達との絆・友情が深まったことです。二つ目は、課題テストに合格したときの達成感です。受験に役立つことをたくさん学べました。これらの経験を大切にして、一つずつ成長して、カッコいいと言われる大人になりたいです。サポートしてくれた先生方、ありがとうございました。

(中三・ASさん)